



2021年4月19日

報道関係者各位

慶應義塾

## 展覧会「交景：クロス・スケープ」2大企画 特別プログラム「文字形-AIが開く くずし字の風景」 学生スタッフプロジェクト「KeMCoM Project」

慶應義塾ミュージアム・コモンズは、2021年4月19日からグランド・オープン記念企画「交景：クロス・スケープ」を開催します。

その中の特別プログラムとして、ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター (CODH) と共同して、くずし字認識 AI を通して文字の形の豊かさを体験するプログラム「文字形-AIが開く くずし字の風景」を実施します。

このプログラムでは、CODH のくずし字認識 AI 「KuroNet (クロネット)」を活用した、くずし字認識 AI アプリ「みを (Miwo)」や、くずし字閲覧ウェブアプリ「IIIF Curation Viewer」を用いて、展覧会に出品されている作品を実際に読む体験を提供します。

また、学生スタッフ (通称：KeMCoM (ケムコム)) による「KeMCoM Project」も複数展開されていますので、ぜひお越しください。

### 1. 特別プログラム「文字形-AIが開く くずし字の風景」

「文字景」に展示されている作品は、さまざまな形の文字に彩られています。とりわけ、平安時代に漢字から生み出された「ひらがな」は、もとになった漢字 (字母) やくずし方によっていくとおりもの形をもち、美しく豊かな姿を見せています。

一方、くずし字がきちんと読める人は数千人程度 (人口の 0.01%程度) と言われており、これまでの展覧会では、くずし字で書かれた作品を出品しても、来場者がそれを読んで内容を楽しむことは難しいという課題がありました。

この「文字形」プログラムは、ROIS-DS 人文学オープンデータ共同利用センター (CODH) の協力を得て、文字の形の豊かさを、最新のテクノロジーを通して体験していただく試みです。展覧会会場では、CODH のくずし字認識 AI 「KuroNet (クロネット)」を活用し、スマートフォンのカメラで撮影してくずし字を認識できるアプリ「みを (Miwo)」や、くずし字認識の結果を IIIF (International Image Interoperability Framework) 画像上に重ねて表示し閲覧できるウェブアプリ「IIIF Curation Viewer」を用意することで、展覧会「文字景」で展示されているくずし字で書かれた作品を実際に読む体験を提供します。

<くずし字認識 AI アプリ「みを (Miwo)」とは >

くずし字認識 AI アプリ「みを」は、CODH のくずし字認識 AI 「KuroNet」を活用したスマートフォンアプリです。現在はまだ開発中の段階にあり一般には公開していませんが、今回の展覧会は一般の方々が初めてアプリを体験できる機会となります。今回の展覧会で得られる利用者からの声を参考にさらに改良を進め、将来的には iOS 版および Android 版をアプリ

ストアにて公開する予定です。

なお「みを」は『源氏物語』第14帖「みをつくし」にちなんだ名前です。「みをつくし」が人々の水先案内となるように、「みを」アプリがくずし字資料を読むための道案内となることを目指しています。



「みを」は撮影画像中のくずし字を一度に認識し、現代の文字に置き換えて表示する。同一文字種のハイライト、字母情報の表示、認識結果のテキスト出力などの機能もあり、自分で読み調べることができる。

<参考 URL>

KuroNet とは： <http://codh.rois.ac.jp/kuronet/>

みを (Miwo) とは： <http://codh.rois.ac.jp/miwo/>

IIIF Curation Viewer とは： <http://codh.rois.ac.jp/software/iiif-curation-viewer/>

CODH によるプログラム紹介： <http://codh.rois.ac.jp/exhibition/kemco-2021/>

## 2. 塾生たちのデジアナ実験場「KeMCoM Project」

本プロジェクトでは、専攻分野やキャンパス間の垣根を超えて、塾生（学部生・大学院生）がミュージアムにおける展示・收藏の実践と間近に接しながら、デジタルとアナログの関係性を、体験を通じて学び、メディア横断的な創造を展開しています。三田キャンパス東別館 8F の KeMCo StudI/O（ケムコスタジオ）を拠点に、それぞれの持つ興味や関心、知識や経験を共有し、塾生ならではの視点と文脈から、文化・芸術とファブリケーション（ものづくり）の新しい可能性を探求しています。現在、以下の3つのサブプロジェクトが塾生主体で展開されています。

- ・ Kawaiiinfo：かわいい視点で、身近に・気軽に感じられるアート

KeMCo での活動を、学生目線で SNS に発信しています。展覧会の出展作品や展覧会ポスターのビジュアルデザインをイメージした「かわいい」コンテンツ（AR フィルター）を制作す

る等、身近・気軽に展示作品を楽しめる施策を盛り込んでいます。

Twitter : <https://twitter.com/kemcomembers>

Instagram : <https://www.instagram.com/kemcomembers/>

Note : <https://kemco-keio.note.jp/>

- **3D Virtual Exhibitions** : バーチャル空間における KeMCo 体験 (近日公開予定)

国外の方や来場することができない方に、バーチャル空間で KeMCo を体験していただく企画です。固定観念にとらわれずに、デジタル環境ならではのミュージアム鑑賞体験を創出するため、Mozilla Hubs (Web ブラウザで動作するソーシャル VR アプリ) や 360 度カメラを使用した企画を準備中です。※試作品を展覧会場でご覧いただけます。



- **Augmented Aesthetics** : 拡張される、美的「感覚」

東別館エントランスに展覧会出品作品をイメージしたプロジェクションマッピングを施すなど、デジタル×アナログが体感できる3つの展示をお届けします。フォトジェニックな空間とインタラクティブな体験をぜひお楽しみください。



プロジェクト紹介サイト (URL) : <https://studio.kemco.keio.ac.jp/kemcom/>

展覧会「交景：クロス・スケープ」

会 期：2021年4月19日（月）～ 6月18日（金）（土日祝は休館）

開館時間：10:00～18:00

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス東別館

入 場：事前予約制（無料）。<https://bit.ly/3d1MOaB>（慶應義塾カルチャーパス）

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

---

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田） TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>